

# 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム第 35 回運営委員会

## 議事録

- 1 日時 令和 7 年 6 月 24 日（火） 15 時 00 分～16 時 00 分
- 2 場所 オンライン会議（ZOOM）
- 3 出席者（運営委員） 南委員長、伊藤副委員長、伊原委員、植松委員、岡本委員、小松委員、高部委員、羽鳥委員、深野委員

### 4 概要

#### (1) 前回の議事録の確認

第 33 回運営委員会(オンライン)の議事録について、資料 3 に沿って説明・確認した。

#### (2) 第 1 号議案：運営委員の交代について

運営委員の交代について、資料 2 に沿って説明し、審議・承認した。

また前回の第 34 回運営委員会(書面審議)にて承認された運営委員の交代、所属の変更に  
についても、報告した。

#### <新運営委員>

- ・羽鳥 記章 氏（総務省統計局統計データ利活用センター センター長）
- ・深野 淳一 氏（(独)統計センター 統計技術・提供部 統計情報提供課 課長）  
（\*深野氏に関しては、書面審議にて承認済みのため報告のみ）

#### (3) 第 2 号議案：公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム開催企画案について 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム 2025 開催案について、資料 4 に 沿って説明し、議論した。

- チュートリアルセッションでは、公的統計マイクロデータが信頼性の高いデータであることを利用者に理解してもらうことを目的とし、調査の企画から集計・製表、分析に至る統計データ作成の一連のプロセスの解説を予定している。特に符号格付について、専門性や効率化の取組（AI 支援・ルールベース）を紹介したい。
- 一般的な参加者にとっては、マイクロデータの利活用と符合格付け業務のつながりが分かりにくいいため、「符号格付業務がマイクロデータ利用にどう繋がるか」を導入部などで明示すべき。利活用の意義を具体的にイメージできるような工夫が必要。
  - 「分類符号格付け」という専門的な内容については、マイクロデータ利用者にとってどのような意味を持つかを丁寧に説明する必要がある。
  - 利用者が「分類の符号がどのように作られているか」を理解することで、分析の際にその点を踏まえた配慮が可能になるのではないかと考えていたが、もっと明確な位置づけが必要か？
  - ミクロデータでは、変数（例：職業）にすでに符号格付けされた状態の情報が格納されているが、利用者はそれがどう格付けされたかという過程にはアクセスできず、元となる情報（例：仕事内容など）には遡れない。今回の解説で、利用者が「どういう職業や状況を指しているのか（この符号が何を意味するのか）」についてのイメージを持てるようになると、データの実態把握の手がかりとなるのではないと思う。
- 午後の第一セッションでは、本格運用を開始した我が国のリモートアクセス制度について、現状と課題を把握し、今後の改善に向けたセッションを行う。

- 午後の第二セッションでは、データ連携の研究取り組みについて、3名にお話いただくことを考えている。

#### <今後の予定>

- 今後は日程調整をし、講演者を確定していく。
  - プログラムは、シンポジウムの2ヵ月前に確定したい。可能であれば統計センターの公募型共同利用の研究集会との兼ね合いもあるので、9月上旬の連合大会には広報ができるよう8月末位までにはプログラムを確定したい。
  - 8月末を目標に準備を進める。

## 5 報告事項

### <報告事項1> 動画公開について

動画公開について、資料5に沿って報告した。今回は2025年4月に下記の3本を公開した。

- ・ 全国学力・学習状況調査結果の研究利用推進  
相原 康人（文部科学省 総合教育政策局 参事官(調査企画担当付 学力調査室長)）
- ・ 匿名データの利用手続きについて  
千葉 亮太（独立行政法人 統計センター 統計技術・提供部 統計情報提供課）
- ・ 統計センターが提供するSSDSEを使った分析の事例  
木村 敦（独立行政法人 統計センター）

### <報告事項2> NewsLetter 第7号発行について

3月に発行したNewsLetter 第7号について、資料6に沿って報告した。

- 今回は、2月に開催されたシンポジウム「社会科学分野におけるマイクロデータ利用の現状と課題」でのパネルディスカッションの記事を特集した。その他に、シンポジウムや評議会の開催について報告した。また、連載企画として、京都大学のオンサイト施設を紹介した。次号のオンサイト施設の紹介については、6月に開設された九州大学のオンサイト施設を取り上げる予定。

### <報告事項3> 2025年度統計関連学会連合大会企画セッションについて

2025年度統計関連学会連合大会での企画セッションについて、資料7に沿ってプログラム内容を報告した。今年度は「公的統計における2次的利用の新展開とプライバシー保護研究の最新動向」をテーマに実施する。

### <報告事項4> 統計関連学会連合大会協賛について

統計関連学会連合大会への協賛について、資料8に基づいて報告した。例年、これにより数件の会員申込みがあることから、今年度も引き続き協賛することとしている。

- 昨年度はチラシをカンファレンスバッグに同封したが、本年度はプログラム冊子への広告掲載という形で実施する。

次回運営委員会は、9月の開催を予定

以上